部が調印したものだから押して受取つて貰ひたいと右嘆願書を置いて退出し更に午後二時半會社代表者と重ねて會見意見の交換をした一方住友電線製造所職工は依然罷業を續け右時常務は十七日

第三回 の嘆願書に對する回答を與ふべく委員十一名を招いて「會社は最初の時十分研究した上で回答したのだから初め與へた事以外に回答は出來ない」と拒絶し職工が依然罷業を續けるなら年增の方にもお子供衆にも萬人に向く化粧料ホーカー液は會社は十分なる對策を講じなければならぬと暗に強硬の態度を示したので職工側も斯る

場合を 豫想して(一)就業三日前に通告する事(二)其期間中一日一人に對し日給は全額を支給する事其他二ケ條の要求書を更に提出した

電線所側の回答

住友電線所・同製鋼所・藤永田造船所問題

代表職工の馘首を覺悟して

男女職工の醵金

6.18

昨夕刊報十六日朝改めて要求書を提出するこ共に意業狀態を呈した住友電線所職工は午後零時半頃から何れも作業場を離れて場外に出で又四百の女工も仕事を放棄し男工に加はり嬉んで勞働歌を高唱し殆んど場内罷業の狀態となつたが

代表者は種々協議の結果飽まで紳士的行動に出るため回答期の十七日午前十時までは平靜の態度を取る事に申合せ音業は持續するが機械には油を注ぎ動力機關には故障を生ぜざるやう警戒した

尚ほ今後の態度を決するため午後六時から朝日橋者裏の鶴榮館で演說會を開催する事を決議し午後四時半の退所時刻となり一同平穩に演說會場に向つた

而して會社側の意嚮は第一回嘆願書に回答した以外に新に讓歩する

執らに就く？職長會

電線所の職長と組長

6.18

住友電線製造所職長及組長の名を以て職工側が第一回の嘆願書を提出した十四日午後二時職長會の名に依り會社側と職工側との仲裁者たらんと申出でたが職工委員は協議の結果此不徹底な申出には應ぜずと峻拒したので十六日職長會は更に連判狀を作製して職工側の味方たらんと申出た、職工側は之を別項鶴榮館の演說會場で聽衆に語つたところ「職長組長の帽子を脫いで會社側に返せ」と決議したので

この旨を職長會に傳達した、職長會今後の態度は注目されてゐる

電線職工の報告演說

住友電線工場職工千二百名は十六日午後六時から西區朝日橋鶴榮館に集合して報告演說會を開いた、傍聽者は職工其他を合して千五百に近く中に二百名近くの女工が加はつてゐた

司會者高橋委員の開會の辭に次ぎ實行委員の土井、阿部二君の外製鋼所の大矢委員も登壇、二十五名の辯士交々立つて長廣舌を揮ひ午後十時に至り勞働歌を高唱しつゝ無事散會したが委員二十名は直ちに西區四貫島の事務所で更に協議を凝らした

女工團も加つて製鋼工の大演說

閉會後興奮せる

隊は示威行列

6.20

死すとも屈せず

製鋼所側の決議宣言

◇最後手段も辭せずと

住友二工場の示威行列三千人

西區餘名も交つて

家呪詛の叫び聲

6.20

形勢 不穩と認めて遂に三日間休業に至つた住友電線製造所の職工一千二百餘名、及び同製鋼所の一千八百名は、十九日午前九時半、西區西九條明治座に集合し、此處に兩工場の合同職工大會を開催し、製鋼所側の大矢庄造

電線 工場側の仲政之助其他數名の演說があり

一、我々は正當なる要求を貫徹すべく最終の手段たる○○又は○○をも厭ふものにあらず

二、我々は今後姉妹工場たる電線製造職工と行動を共にす

との暗示めいた決議を爲し、長文の宣言書を

發表 した上、一同は示威運動を爲すべく、西九條公園内にて隊伍を整へ、電線製造の女工二百餘名を先頭に、十數旒の長旗を押立て、二百六十名の委員が前後に添うて指揮役を勤め、勞働歌を

高唱 しつゝ、市内に繰り出し、先づ製鋼所前に出で、資本家呪詛の叫びを揚げながら、午後零時半三本松の辻から、電線製造所前に流れ出て、此處でも亦盛んに示威運動を行つた、市内各署の警官隊

堵を 築いての嚴重の警戒振りに、何事をも爲し得ず、其儘四貫島小學校々庭に戻り、午後二時近く無事解散したが、電線製造所側は、二十三日の休日明けからは、會社に解雇の意志あるを認めて

全部 罷業を行ふに至るべく又製鋼所側は二十日意業の中に更に要求案を提出するらしい（大阪電話）

汽車會社も騷ぎ出す

解雇職工二名の

復職運動

大阪市 島屋町大阪汽車會社の職工は、竟て待遇改善の要求を

更に新要求書を

住友總本店へ提出した

住友電線製造所の職工連

6.19

爭議中の大阪西區恩貴島町住友電線製造所職工は十八日も例刻から出勤したが依然場内罷業を繼續し工場内には赤布の腕章を纏うた實行委員が嚴重に職工の動靜を監視して居るので不穩の形勢は少しもない、各職工は今明日中に臨時休業を豫期して居るもの、如く實行委員の手で全職工の現住所を書き留めて其の際に處する準備を進めて居る、斯くて午後一時職工側の中心人物たる

中政之助、高橋孝三、高橋龜雄、北村德松、鶴原常五郎、橋口直彌、阿部秀等の七名

は新實行委員となつて團體交渉權の内容の中に災害に關する件の一項を追加した新要求書を携へ折からの雨を冒して北濱の住友總本店に赴いた

山下理事と會見

住友電線製造所の新實行委員仲政之助外六名は別項の如く午後二時二十分自動車で北濱の住友總本店を訪ひ山下理事に會見したが山下理事は委員と面會するに先立ち前に出來るだけの回答をして置いたのであるから新實行委員が來るにしても總てを拒絶する積りであると語つた

職長の帽子を脫いで

五十五名職工側に應援

6.19

會社側に就く二名は除名

會社も就くか、職工側に應援するか其の態度を注視されて居た住友電線製造所の組長、職長、職長心得等五十七名は十七日朝來更に組長會を開いて態度を決定す可く凝議した結果、大部分は職工側援助に傾いたので午前十時職工側から三名の幹部を招き懇談し俺迄も反對する酒田、矢田の二名を組長會から除名し午後一時に至り左記決議を發表し、今十八日から職工と同一行動に出る事となり夕刻會社に對しても反旗を翻す旨明した、今後の行動は一層注意される

決議書

一當工場勞働爭議中は全般職工と行動を同一に爲す事

一爭議中は職長、組長の帽子を用ひざる事

右決議す

六月十七日　組長會